

「観光関連事業者景況調査（2月分）」集計速報

調査概要

本調査は、静岡県中部5市2町の観光関連事業者の中から抽出した330事業所に対して2022年3月4日付で調査票を送付し、郵送またはWebで141先から回答（回収率42.7%）を得た。表内の数字は指数（STI[※]）で示しており、最大+50、最小▼50で、基準時点と比べた景況感を示している。

1. 直近の景況感

（1）前月と比べた当月（2月）の景況感

（全体）2月の景況感は▼26.3と前月比▼2.7ポイントの下降

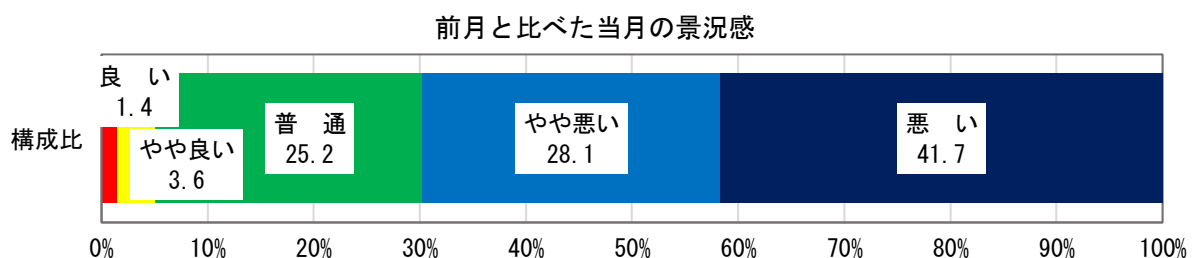
（業態）交通は前月より改善するも、観光・体験、宿泊、飲食店、土産・小売マイナスが拡大

（地域）焼津市は▼20ポイント下降したが、藤枝市は+15ポイント上昇

前月と比べた当月（2月）の景況感（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
2月・速報	▼26.3	▼20.2	▼29.9	▼37.5	▼27.1	▼37.5	▼17.2
1月・確報	▼23.6	▼12.8	▼26.5	▼34.4	▼17.2	▼45.5	▼27.5

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
2月・速報	▼26.3	▼27.1	▼30.0	▼43.2	▼19.6	▼22.9	▼3.6	▼28.6
1月・確報	▼23.6	▼22.9	▼30.4	▼20.8	▼35.3	▼16.7	▼7.5	▼5.6



※…STI (Suruga Tourism business Index)…静岡県中部5市2町の観光関連ビジネスの景況感を示す指数。設問に対して5択（「良い」+50、「やや良い」+25、「普通」±0、「やや悪い」-25、「悪い」-50）で回答してもらい、回答を点数化して合計し、有効回答数で除した値。全員が「良い」と回答すれば指数は最大値の+50となり、全員が「悪い」と回答すれば指数は最小値の-50となる。結果がプラスの場合には基準時点よりも景況感が『改善』、マイナスになれば基準時点よりも景況感が『悪化』したことを示す。

(2) 当月（2月）と比べた2～3か月先の景況感の見通し

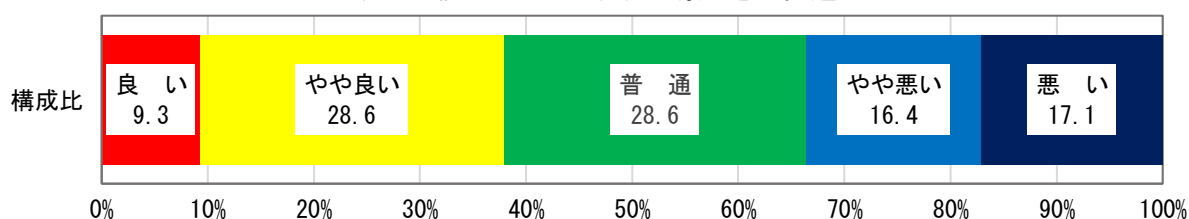
- （全体）今年2月と比べた今年4～5月の景況感は▼0.9と、ほぼ横ばいの見通し
- （業態）飲食店、土産・小売、その他は、前回のマイナスからプラスに転じる見通し
- （地域）吉田町が+25.0、川根本町が+3.6のプラスだが、藤枝市は▼10.7のマイナス

当月（2月）と比べた2～3か月先の景況感の見通し（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
2月・速報	▼0.9	▼5.2	▼10.4	+14.3	+8.3	▼2.1	+14.1
1月・確報	▼17.0	▼10.0	▼24.0	▼15.0	▼18.8	▼20.5	▼10.0

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
2月・速報	▼0.9	▼1.7	±0.0	▼2.3	▼10.7	▼2.1	+25.0	+3.6
1月・確報	▼17.0	▼17.5	▼5.0	▼18.8	▼29.4	▼6.3	▼12.5	▼28.1

当月と比較した2～3か月先の景況感の見通し



2. 過去と比べた当月（2月）の景況感

(1) 昨年同月（コロナ禍）と比べた当月の景況感

地域全体 ▼15.6 （前月 ▼2.5）

(1年前からの変化の要因)

- ・まん延防止重点措置が当初の終了予定から延長され、人出が戻らない（全業種）
- ・新型コロナが収まらないため宿泊客が増加せず、団体客も来ない（宿泊、その他）
- ・感染者数が多く、昨年も今年も臨時休業をした（観光・体験）
- ・オミクロン株の感染拡大でビジネス客が大幅に減った（宿泊）
- ・まん延防止に指定されたが、昨年よりも関東・関西からの来訪者が増えた（観光・体験）

(2) 2019年同月（コロナ禍以前）と比べた当月の景況感

地域全体 ▼34.5 （前月 ▼28.8）

(コロナ禍以前からの変化の要因)

- ・新型コロナの発生により客数が減少した（全業種）
- ・団体客やイベントが激減、1グループあたりの人数も減少した（観光・体験、宿泊等）
- ・法人、飲食店、出張に関する利用が減少した（宿泊、交通）
- ・客単価を上げるために値上げをした（宿泊）
- ・団体客から個人客にシフトしたことで客単価が上がった（宿泊）
- ・仕入単価が上昇した（宿泊、その他）
- ・おひとり様の利用が増えた（宿泊）

(以上)